

第2学年 国語科学習指導案

日 時 令和4年6月15日(水)
学校名 小金井市立緑小学校
対 象 第2学年2組 29名
授業者 鈴木 浩之

1 単元名 あったらしいな、こんなもの

2 単元の目標

- ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うことができる。 [知識及び技能] (1)キ
- ・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容をとらえて感想を持つことができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] A (1) エ
- ・伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] A (1) ア

3 単元の評価規準

知識・技能	丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使っている。
思考・判断・表現	・「話すこと・聞くこと」において、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想を持っている。
主体的に学習に取り組む態度	粘り強く話を集中して聞いて内容を捉え、学習課題に沿って質問や感想を述べようとしている。

7 本時の内容（4／8時間）

(1) 目標

理由や働き、外観に着目して友達と質問し合うことを通して、それぞれが考えた道具についてより詳しく考えることができる。

(2) 展開

	○ 学 習 活 動	◇ 指導上の留意点 ◆ 評 価
導 入	○前時を想起し、本時のめあてを確かめる。	◇めあてを掲示し話合いの目的を明確にしてお ともだちと話しあって「あったらいいな」と思うどうぐをくわしくかんがえよう。
展 開	○3人1組で話合いを行う。 ・相手に自分の道具について伝える。 ・聞き手は、どんな質問をすれば道具がより詳しくなるか考えながら聞き、質問したり感想を伝えたりする。 ・1人7～8分ずつで交代し、時間を区切って話し合う。 ※Chromebookの「スクールタクト」で道具の絵を共有し、グループ内でお互いの道を見合うことができるようにする。 ○友達からの質問やアドバイスを受けて「スクールタクト」の絵に印を付けたりメモをしたりする。 ○学級全体で話合いの結果を交流する。	◇前時で学習した質問や聞き方の観点を掲示し、いつでも確認できるようにしておく。 ◇安心して取り組み、意見交流が活発に行えるように、話形にとらわれず、日常の「おしゃべり」のように話し合わせる。 ◆【主体的に学習に取り組む態度】 相手に分かるように話そうとしたり、友達の考えに進んで質問しようとしていたりしている。 (観察・発言) ◇質問やアドバイスを受けて、自分が納得した点について画面上に書き足すようにさせる。 ◆【思考・判断・表現A】 質問や感想を受けて道具についてより詳しく考えている。 (観察・発言) ◇話合いを通して、道具の内容がより詳しくなったことを意識させる。
ま と め	○本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	◇友達の質問やアドバイスによって、紹介する道具がより詳しくなったところを振り返らせ、話合いの有用性について気付かせる。

